

自己資本比率(単体)



自己資本比率は社債やファンド等(金銭の信託・受益証券)へ積極投資したことに伴いリスクアセットが増加したものの、内部留保により自己資本額が増加したことから、前期末比は0.04ポイント上昇しました。一方、前年同期比は、経過措置終了や農林中央金庫の資本施策への対応により、2.72ポイント低下しました。

(単位:億円)

項 目	平成30年9月末 (a)	平成31年3月末 (b)	令和元年9月末 (c)	前年同期比増減 (c-a)	前期末比増減 (c-b)
コア資本に係る基礎項目の額 (A)	3,970	3,909	4,046	75	136
うち適格旧資本調達手段の額	76	38	38	△38	—
コア資本に係る調整項目の額 (B)	3	4	4	0	△0
自己資本の額 (A-B)(C)	3,966	3,905	4,042	75	137
リスク・アセット等の額の合計額 (D)	23,381	27,489	28,385	5,004	896
信用リスク・アセットの額の合計額	22,980	27,095	27,991	5,010	896
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	400	394	394	△5	—
自己資本比率 (C/D)	16.96%	14.20%	14.24%	△2.72%	0.04%

注:①農協法第11条の2第1項第1号の規定に基づく組合の経営の健全性を判断するための基準にかかる算式に基づき算出しています。

②令和元年9月末は剰余金処分による外部流出を見込んでいません。

③バーゼルⅢの経過措置終了により、平成31年3月末から上部団体向けリスク・ウェイトは250%が適用されています。(平成30年9月末は経過措置で200%)

